

2020 年度
湘南白百合学園中学校
帰国生入学試験問題

国 語

45 分

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

○受験番号・氏名は解答用紙にも書くこと。

* 答えは解答用紙に書きなさい。

① 次の——線部のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

- ① 父はハクシキだ。
- ② 荒れた土地をタガヤす。
- ③ 国語のセイセキが上がった。
- ④ 決勝戦で宿敵にヤブれた。
- ⑤ かぜをひかないように予防チュウシヤをした。
- ⑥ 山菜を採りに出かける。
- ⑦ 俵型のおにぎりをにぎる。
- ⑧ 至急電話をかけてほしいと言われた。
- ⑨ 飛行機を操縦することが夢だ。
- ⑩ この野菜は豊かな大地に育まれた。

② 次の()には体の部分を表す語が入ります。①～⑤のそれぞれに共通する漢字一字を答え、慣用句を完成させなさい。

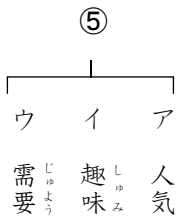
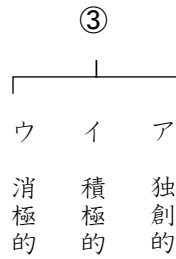
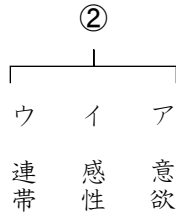
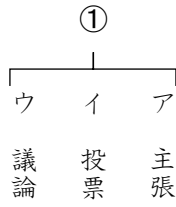
- ① () を明かす
() を折る
() を突く
- ② () を疑う
() が痛い
() に入れる
- ③ () を抜く
() を焼く
() を貸す

- ④ () が堅い
() を割る
() がすべる
- ⑤ () を決める
() にすえかねる
() を割る

三

次の——線部のカタカナ語の意味として最もふさわしいものを、それぞれ後から選び、記号で答えなさい。

- ① クラスの目標を全員でディスカッションして決めた。
- ② 合唱コンクールに向けてモチベーションを高める。
- ③ 私はいつもポジティブな性格と言われる。
- ④ カジュアルな服装で食事会に出かけた。
- ⑤ この店には各世代のニーズに合わせた商品がそろっている。



四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、問いに字数指定がある場合には、句読点なども一字分に数えます。

《立花あかりはクラスメイトの鬼塚真紀との関係に悩み、学校に行けなくなってしまった。そんな時、保健所から鉄工所の社長が引き取って飼っている犬のタローとの出会いや、鉄工所で働く人々との関わりの中で、様々な生き方があることに気付く。しかしその後、タローは病気で死んでしまった。》

タローの亡骸は、段ボールの箱に真新しい毛布を敷いた中に納められ、鉄工所の裏にある大きなブドウの木の根元に、穴を掘って埋められた。

既に根雪になっているこの時期に、土のある所まで穴を掘るのは、大変な作業だったが、成井さんが手伝いを申し出てくれた。それからあたしは、その場所に小さな台を作り、額に入れたタローの写真と、折り紙で作った朝顔の花を飾ってあげた。写真は、以前、まだタローが元気だったころ、写真の好きな黒神さんが撮ってくれたものだった。

社長や成井さんはもちろんのこと、ゴローさんや柳さんまでが、タローの写真の前で頭を下げた。

「タローほど、頑張り屋さんの犬はいなかったな。＊最期、あんなになってまで自分の足で立とうとする。僕はタローのあの姿を見ていたら、今後いっさい弱音を吐けなくなったよ」

社長はそう言って、タローの最期の姿を称えた。

その場にいた皆が、タローの頑張りに胸を打たれていた。

もちろんあたしも……。

その晩は、布団に入って目をつぶってからも、タローの最期の姿が頭の中に浮かんで来て、なかなか眠りにつくことができなかった。倒れても倒れても、最後まで自分の足で立とうと努力し続けたタロー。どんなにか苦しかっただろうに、ひとりで苦痛に耐えて、最後まで生きるのを諦めなかった。

もしあたしと同じ状況になったら、あんなに頑張り続けることができるだろうか？

今まで、学校からも、鬼塚真紀からも、逃げてばかりいたあたしの胸に、タローが最期に見せてくれた姿は、^①ずしりと重く響いた。

もしかしたらタローは、ああやって自分が頑張ることで、あたしに何かを伝えようとしてくれたのかな？
一晩中まんじりもしないで、あたしは自分の心に問い続けた。

お前は本当にこのままでいいのか？

このまま学校からも、クラスのみんなからも、鬼塚真紀からも、お母さんからも、そして自分自身からも、ただ逃げ続けるだけの人生でいいのか？

いくら鬼塚真紀が怖^{こわ}いって言ったって、今まで一度だって、本気でぶつかって行ったことがあるのか？

お母さんに、お前の本当の気持ちをぶつけたことがあるのか？

このまま、誰^{だれ}ともぶつからないように用心して、逃げているばかりの人生で、お前は本当にいいのか？

タローを見てみる！

最初に出会った時は、首に触^{さわ}ることも許してくれなかったのに、最期はどうとう社長の腕^{うで}の中に抱^だかれて死んでいった。

ようやく人間を信じることができたタローは、最後の最後、本当の幸せをつかんだのだろう。

ところが、お前と来たら、学校の先生や友達のことはおろか、お母さんや、そして自分自身のことさえ、本当は信じていないのではないのか？

このままで本当にいいのか・・・？

いや。

だめだ！

ぜったいこのままじゃいやだ！

あたしは、あたしは・・・友達を信じたい。

先生を信じたい。

お母さんを信じたい。

そして・・・自分自身を信じたい。

タロー、助けて！

あたしに力をちょうだい！

あたし、あなたのように強くなりたい！

そして、また再び学校へ通いたい！

「あかり、あかり、どうかした？ お腹でも痛いのか？」

隣の布団とよりで寝ていたお母さんが、驚おどろいて声を掛かけて来た。

あたしは布団の中で、大声をあげて泣いていたのである。

「う、ううん。何でもない。ゆ、夢を見ていたの。起こしちゃってごめんね」

「本当にだいじょうぶなの？ あかり、顔が真っ赤よ」

「大丈夫だいじょうぶ。．．今日、ちょっと悲しいことがあって」

「悲しいことって？」

「うん。可愛かわいがってた犬が死んじゃったの」

「まあ、それはかわいそうに．．．」

「でもね、その犬．．．タローっていうんだけど．．．、タローね、すごい頑張ったの」

「頑張ったって？」

「うん。重い病気で、もうほとんど歩けないくらいなのに、必死に自分の力で立ち上がろうとして、何度も何度も倒れちゃうのに、絶対に諦めないの」

「それは凄すごいわね」

「で、最期に一回だけ自分の足で立ち上がって、やっぱり倒れちゃったの」

「そう。でもそのわんちゃん、ずいぶん偉えらかったわね」

「そしてとうとう、亡くなる時は、ご主人様の腕に抱かれて死んでいったの。今まで一度も抱っこさせてくれなかったのに」

「それはよかったわね。たぶん、そのわんちゃんも幸せだったでしょう」

「うん。あたしもそう思う」

「さ、もう寝ないよ。明日も行くんでしょ？ 鉄工所」

「・・・ねえ、お母さん」

「なあに？」

「あたし、学校に戻ろうかな」

「え？」

「今まであたし、学校や友達から逃げてばかりいた。けれど今日、タローを見ていたら、逃げてばかりの自分が恥ずかしくなった。一度くらい、本気でぶつかってみなくっちゃ」

「あかり・・・あなた・・・」

「なあに？ お母さんまで泣いてるの？」

② どういう訳か、お母さんの目に涙が浮かんでいる。

「だって・・・あかりが、いつの間にかこんなになんて強くなったんだって思ったら、お母さん、嬉しくって・・・」

「嫌だ。まだまだこれからよ。とにかく、明日、鉄工所に行ったら、まず社長に言ってみる」

「そうね。それがいいわね」

翌朝、あたしは鉄工所に到着すると、まず一番にタローの亡骸の埋めである場所へ行って、写真の前で手を合わせた。

タロー、今まで本当にありがとう。あたし、あなたからたくさんのお話を教えられた。あたしは決してタローみたいに強くないけど、でも、頑張ろうって決めたんだ。だからもし、あたしがまたくじけそうになったら、少しだけ力を貸してちょうだいね。

タローへのお参りが終わって、立ち上がろうとすると、いつの間に来ていたのだろうか？ 後ろに社長が立っていた。

話すなら、今しかない。

そう思ったあたしは言った。

「社長、お話があります」

「何だい？ あかりちゃん、あらたまって」

「あたし、学校へ戻ろうと思います」

「そうかい」

社長は、一言そう言っただけで、なんで？ とも、何も言わない。

「はい。明日からは、まずちゃんと学校へ行って、放課後こちらへ来ます」

「いや。それじゃだめだ」

「え？ どうしてですか？」

「それじゃあ、またきつとあかりちゃんは、学校から逃げだすだろう。もし、本当に学校へ戻りたい気持ちがあるんだったら、まずしばらくは学校だけに専念しなさい。そのくらいの覚悟があるんじゃないかなったら、学校へ戻るなど、最初から諦めた方がいい」

「社長……」

あたしは、自分の考えの甘さに初めて気づかされた。

たしかに、折角学校へ戻ったとしても、放課後ここに来られるという逃げ道があったら、またあたしは甘えてしまうだろう。社長の言う通りだった。

「あかりちゃんは、^③退路を断つということばを知っているかい？」

「たいろをたつ？」

「そうだ。何かことを成し遂げるために、あえて、どうやっても後戻りできないような状況を作るという意味だ」

「後戻りできない状況を作る……ですか？」

「そうだ。どうだい？ あかりちゃんに、それができるかい？」

「……正直言ってわかりません。けど、やらなければならぬとは思っています」

「うん」

「社長、今まで本当にお世話になりました。あたし、何とかまた学校で頑張ってみようと思います」

「うん」

そうしてあたしはその日、三月ほどの間、ほとんど毎日通った鉄工所とお別れをしたのだった。

「あかりちゃん、本当に行っちゃうの？」

夕方、あたしが鉄工所の従業員さんひとりひとりに挨拶あいさつに行くと、

成井さんはそう言った。

「成井、お前がそんな悲しそうな顔したら、あかりちゃん、去りがなくなっちゃうだろ？ たとえ嘘うそでも、もう少し笑え！」

ゴローさんにそうどやされると、成井さんは下を向いてしまった。

「だって、あかりちゃんが明日から来ないなんて、俺おれ……」

「なんだ！ お前、まさか泣いてるのか？」

「い、いや。な、泣いてなんか……」

そう言う成井さんの顔は、みるみる **A** になり、目には涙が浮かんできた。

「成井さん……」

あたしが言葉に詰つまっていると、後ろから柳さんが近寄って来て、ぼそつと言った。

「成井の奴やつ、あかりちゃんに惚ほれてたんだ」

「え？」

「学校の方が落ち着いたら、たまには会いに来てやってよ」

「は、はい」

鉄工所にいる間、あまり柳さんと話す機会はなかったが、本当は心優しい人だった。

「つらくなったら、いつでも戻っておいで」

ゴローさんもそう言って、手を差し出してくれた。

あたしが **B** と握にぎり返したその手は、なんとも

C とした、分厚い、明らかに職人さんの手だった。

「それじゃあ皆さん、本当にお世話になりました」

あたしはそう言うと、鉄工所を後にした。背後からは成井さんの「あかりちゃん、がんばれよー！」と叫ぶ声が聴こえたが、決して振り返らなかった。

今はただ前に進むしかないのだ。

あたしは自分にそう言い聞かせ、ひたすら前を向いて歩いた。

(西本恵『たいせつなあなたへ 名犬タローが教えてくれたこと』)

(注) * 最期：命が終わる時。

問一 ——線部①「ずしりと重く響いた」について後の問いに答えなさい。

(1) なぜですか。理由として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 社長の今後いっさい弱音を吐けないという言葉を出し、弱音を吐かないで生きていく難しさを想像し辛くなったから。

イ 鉄工所の人々とタローの埋葬をしたことで、夜まで肉体的疲労が残り自分の体がいつもより重いように感じたから。

ウ タローの最期の姿を見たことで生き物の命の重さを実感し、今後すべての生き物を大切にしなければならぬと思ったから。

エ タローが最後まで自分の足で立とうと努力し続けたことが立派だったのに対し、自分は逃げてばかりではいけないと思ったから。

(2) その後、あかりの心情はどのように変化しましたか。本文に沿って四十字以内で答えなさい。

問二 — 線部②「どういふ訳か、お母さんの目に涙が浮かんでいる」とありますが、なぜですか。理由として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア あかりがタローの死というつらい体験をしたことを知り、お母さんは悲しくなったから。
- イ あかりが鉄工所の社長に言われて再び学校に戻ろうとする姿を見て、お母さんはうれしかったから。
- ウ あかりが学校や友達から逃げずに自分の人生を切り開こうとしている姿を見て、お母さんは感動したから。
- エ あかりがいじめられて学校に行けなくなったことを思い出し、お母さんはくやしかったから。

問三 — 線部③「退路を断つ」について後の問いに答えなさい。

- (1) ここでの「退路を断つ」とは具体的にあかりがどうすることを表そうとしているのですか。本文中の言葉を用いて四十字以内で答えなさい。

- (2) このことがあかりの行動に表れている部分を、これより後の本文中から探し、十字程度で書きぬきなさい。

問四

A

C

 にあてはまる語句として最もふさわしいものを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

A

ア	も	じ	や	も	じ	や
イ	び	ち	や	び	ち	や
ウ	め	ち	やく	ち	やく	ち
エ	く	し	やく	く	し	やく

B

ア	お	ず	お	ず
イ	き	び	き	び
ウ	は	き	は	き
エ	な	よ	な	よ

C

ア	ぶ	よ	ぶ	よ
イ	さ	ら	さ	ら
ウ	ご	つ	ご	つ
エ	べ	た	べ	た

五

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、問いに字数指定がある場合には、句読点なども一字分に数えます。(設問の都合上、本文を一部省略しています)

はじめに

ぼくたちはどこから来て、どこへ行くのか。

宇宙の始まりと終わり。地球生命の誕生と行く末。そして、人類が来た道とこれから辿る道。

考えはじめると夜も眠れなくなる、という人は結構いる。ぼくもその一人だ。

2013年、『ナショナルジオグラフィック日本語版』のウェブサイトで連載『研究室』に行ってみた。で、国立科学博物館人類研究部の人類史研究グループ長、海部陽介さんにお話をうかがう機会を得て、現在の人類進化学の展開に心うばわれた。

1990年代から2000年代にかけて、人類の起源をめぐる大論争があつて、結果として、アフリカで生まれたホモ・サピエンスが全世界に広がったという「アフリカ単一起源説」が定説になった。そのあたりまではフォローしていたつもりだったが、その後の研究の流れはあまりに速く、正直ついていけていなかった。

しかし、だからといって放っておくのはもったいない魅力的なテーマだ。海部さんに指導者(監修者)になってもらい、21世紀の人類進化学についてもっと知るための取材を始めた。

〔中略〕

あまりにも小さな「人類」

2003年、インドネシア・フローレス島にて、人類進化の基本認識に変更を迫る大発見があつた。

舞台となつたのは、リャン・ブア洞窟。

動物化石や石器が出ることがすでに知られていた洞窟内の地表下6メートルから、*1原人と思われる人類化石、それもほぼ全身が揃つたものが発掘された。

現在では、LB1(リャン・ブア1号)と呼ばれている標本だ。

〔中略〕

発見者であるオーストラリアとインドネシアの合同調査隊は、2004年になって、『ネイチャー』誌に論文を発表し、LB1をタイプ標本とするホモ属の新種ホモ・フロレシエンシス（日本語ではフローレス原人）を提案した。このことは、学会にとどまらない世界的なセンセーションを巻き起こし、「ホビット」（トールキンの小説『指輪物語』に登場する「小さな人」の意味）というニックネームも^{*2}人口に膾炙した。

〔中略〕

ジャワ原人の研究を通してアジアの人類進化に^{*3}通曉し、のちには自らもフローレス原人の共同研究者になった海部陽介さんの表現を借りると、「^①予想外の場所で、予想外の人類が発見された」というのが肝要な点だ。

海部さんに解説してもらおう。

「古い人類がいるはずがないと思われていた場所からの発見です。フローレス島は、現生人類ホモ・サピエンスがアフリカから拡散してオーストラリアにまで入る途中^{とちゆう}にあります。そこに、あんな原始的な人類が生き残っていました。僕自身、^{*4}ウォレス線を越えるのは、ホモ・サピエンスになってからだと思ひ込んでいました。さすがにあの海は渡れないだろうと。石器が出るというのは前から聞いてはいたんですけど、あまり本気にしていなかった」

〔中略〕

では、海部さんが「予想外の人類」と言った意味は？

「あまりにも小さいんです。身長が1メートルほどしかなく、劇的な^{*5}矮小化をとげている。脳容量も400ccを超え^こるくらいで、チンパンジーとそれほど変わらない。地理的に一番近いジャワ原人が矮小化したものだとすると、半分以下です。人類の進化というのは、原人以降は体も脳も大型化していくのに、まったく逆の方向へいってるんですね。

とくに脳が小さいのは問題で、そもそもホモ属の定義には、脳がある程度大きいということも入っているので、定義変更しなきゃいけないことになる。それぐらい、大変なことなんです」

〔中略〕

いったい、どうしてこんなことになったのか。

発見された場所が予想外だったことはともかく、そこで矮小化したことについては、一応の生物学的な説明は可能である。

「閉ざされた島の環境では、大型動物が矮小化して、小型動物が大型化するといった、いわゆる島嶼効果が働きます。フロレス島ではゾウの仲間のステゴドンが肩の高さ1・5メートルくらいに小型化したり、ハゲコウという地上性の鳥が体長1・8メートルにまで小さくなったりしました。だからフロレス原人の祖先も、島嶼効果で小さくなったのだろうということは言える。

でも、それでも信じられないほどの小ささなんです。脳がこんなに小さくなって、はたして人類としてやっていけるのか。しかし実際に、石器を作っていたことは間違いない。

人類もほかの動物と同じように、こんなに体のサイズが変わるのかっていうのが、やはり衝撃的なんですよ」

〔中略〕

我々は我々だけではないかもしれない

アジアには、かつて、^a 目を（ ）ほど多様な人類がいた。そこへ、ホモ・サピエンスが現れた。彼らはいろいろなかたちで出会い、そして混血した。そうした集団どうしの交わりは、「サピエンスと古代型人類」だけではなく、古代型人類の集団どうしでもあったと考えられる。

まだ化石未発見の空白地域が多く残されているため、アジアの古代型人類の本当の多様性が解明されているわけではない。そしてホモ・サピエンスがアジアに来た正確な時期も、原人が生き残っていた時期も、はっきりとはわかっていない。^{*6} 旧人となると、さらにわからないことが多い。少し年代が狂えば、「そもそも接触していなかった」というケースも出てくるかもしれない。それでも、混血が何度かあったという証拠は、すでにDNAから得られている。この「接触」「混血」が繰り返されるといふシナリオには、とてもドキドキさせられる。

また、それと同時に、ぼくは深く^b 安堵する。

ぼくたちはぼくたちだけだと思っていたら、ぼくたちだけではなかった。^② ぼくたちの中に彼らはいて、ぼくたちの一部である。そのような可能性を感じるだけで、自分自身も、ホモ・サピエンスという種も、限りなく開かれた存在に思えてくる。

つくづく、人類の起源についての議論は、単に知的好奇心を満たすだけでなく、我々のアイデンティティや人間観の問題に直結している。

③ グローバル（全地球的）につながった世界が、まさにユニバーサル（宇宙的）になるうとしている今だからこそ、ぼくたちの過去に何があったのか、どんな人類がいたのか、そして、ぼくたちの中には誰がいるのかを知りたい。

(注) * 1 原人：人類は初期の猿人、猿人、原人、旧人、新人と進化してきたが、原人は猿人よりも脳容積が大きく、歯やあごが縮小し

た人類。石器をより多く使い、肉食をよくするなど、文化・行動面でも猿人と異なる。

* 2 人口に膾炙(す)る：広く人々に知られたること。

* 3 通曉：非常にくわしく知りぬいていること。

* 4 ウォレス線：生物の分布境界線のこと。インドネシアのロンボク海峡からマカッサル海峡を南北に分断する線。これより東に入ったのはホモ・サピエンスが初めてであるという定説がある。

* 5 矮小：規模が小さくなるさま。

* 6 旧人：人類は初期の猿人、猿人、原人、旧人、新人と進化してきたが、旧人は原人よりも脳が大型化し、現代人に近い特徴を持つている。有名なのはネアンデルタール人。

問一 ～～～～線部 a 「目を（ ）」、b 「安堵」について、後の問いに答えなさい。

(1) ～～～～線部 a の () に入る言葉として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 背(そむ)ける
- イ かける
- ウ 見張(みは)る

(2) ～～～～線部 b 「安堵」と同じ意味を表す表現として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ほっとする
- イ ぐっとくる
- ウ はっとする

問二 ——線部①「予想外の場所で、予想外の人類が発見された」とありますが、どういうことですか。ふさわしいものを次から二つ、選び、記号で答えなさい。

- ア トールキンの『指輪物語』に登場する「ホビット」が現実存在したことが証明されたということ。
- イ 原人は身長も極端きょくたんに低い上に、脳の大きさがホモ属の定義をくつがえしかねないくらい小さかったということ。
- ウ 現生人類ホモ・サピエンスがアフリカから拡散してオーストラリアにまで入ったということ。
- エ フローレス島で石器がしばしば発見されていたのは、ホモ・サピエンスがいた証拠であるということ。
- オ フローレス島という、原人がいると思われないところで原人が発見されたということ。

問三 ——線部②「ぼくたちの中に彼らはいいて、ぼくたちの一部である」とはどういうことですか。「彼ら」「ぼくたち」の指示内容を示しながら、本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問四 ——線部③「グローバル（全地球的）につながった世界が、まさにユニバーサル（宇宙的）になろうとしている今」とありますが、世界が大きく広がっていきこうとする今、「我々は我々だけではないかもしれない」という筆者の考え方が大切だということを、自分の身の回りの例をあげながら百字程度で説明しなさい。（答えはいくつかの文に分けてもよい。）

（ お わ り ）

国語解答用紙

受験番号
氏名

得点
※

①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩

①
②
③
④
⑤

①
②
③
④
⑤

④ 問一 (1)

(2)
40

② 問二

① 問三 (1)
40

(2)
10
40

問四
A
B
C

① ② 問一

③ 問三

④ 問四
100

※

※

※

※には何も書かないこと